

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

別紙3

公表：令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 児童発達支援 色えんぴつ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	0	1 部屋を活動毎に工夫して使っている。 小グループで活動を行うこともある。	
	②	職員の配置数は適切である	3	0	0	人員基準は満たしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	0	登所後の支度・食事・着脱の場所等、パーティションを使い、空間を設定している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	0	1 部屋のため、あそぶ場所、活動する場所を設定し、利用児にわかりやすくなるよう分けている。 コロナ感染予防のため、小グループで活動を行うこともあり、分散化に努めている。	今後も利用児の状況や特性に合わせた空間設定をしていく。感染予防にも努めていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	0	会議や日々の話し合いで報告や確認を行っている。	全員に周知できるよう徹底していく。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	0	保護者からの意向等を聞き、会議等での周知、話し合いを実施している。	今後も業務改善に努める。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	3		第三者評価は受審していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0	3	0	支援会議、職員会議、法人研修、外部研修等に参加。	今後、積極的に研修へ参加する機会を設ける。

適切な支援の提供

⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	0	アセスメントの実施、保護者からの要望等を職員に伝え、話し合いを重ね、計画作成を行っている。	全員に周知できるよう徹底していく。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	0	スケジュールの提示や視覚支援、予定の確認等を実施。	利用児の特性に合わせたツールを実施していく。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	0	定期的に保護者と面談を行い、色えんぴつと家庭での様子を共有し、利用児のアセスメントを元に支援計画を作成している。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	0	会議や日々の話し合いで報告や確認を行なっている。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	0	会議や会議以外での勤務時間に話し合いを行い、活動プログラムを立案している。	時間を調整し、全員で行えるよう徹底していく。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	0	利用児の状況により、静と動の活動を取り入れたり、グループ分けをして活動を行っている。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	0	0	利用児の状況に合わせ、作成している。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	0	予定表やホワイトボードを活用し、全員で確認している。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	0	気になったことは終了時だけでなく、その場で伝え合っているが、時間的に難しいことが多いため、翌日になることがある。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0	ケース記録、日誌等に記録している。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	0	定期的実施している。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	0	3	児童発達支援管理責任者が保護者、焼津市と面談を行い、セルフプランを作成している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	0	関係機関と情報共有し、密に連携を取っている。 1,6健診後のおひさま教室にも参加している。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	0	就園先の保育所や幼稚園と情報共有をしている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	0	3		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	0	3	同法人内の施設と情報共有や連携をとっている。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	3	現在の状況では幼稚園等との交流は難しいと考えている。	個々で、幼稚園の園庭開放や行事等への参加を勧めている。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	0	3	参加はしていない。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	0	保護者とは送迎時や面談、連絡帳を通して利用児の様子を共有している。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	2	1		
	㉛	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	0	契約を行う際に説明を行い、改定があった場合等は都度お知らせをしている。	

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	0	保護者に対し、個別に支援計画の内容について詳しく、説明し、同意を頂いている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	0	送迎時や連絡帳、面談等を通して保護者の相談に応じ、助言をしている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	3	父母の会の活動、保護者会等は実施していない。	今後保護者同士の交流の場を設けていきたいと考えています。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	0	職員には伝達を行い、相談者、協力者を募り、適切な対応を心掛けている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	0	不定期ではあるが会報を発行している。	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	3	0	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	0	視覚支援や構造化に取り組み、それぞれにわかりやすく配慮に努めている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	3	民生委員の受け入れはある。	
非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	0	マニュアルの策定はあり、周知しているが、保護者に対して周知できていない部分がある。	全員に周知できるよう徹底していく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	0	毎月1回防災訓練を実施。しかし利用児は毎日の利用ではないため、全ての参加は難しい。	できるだけ全員が参加できるよう工夫していく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	0	事前に聞き取りを行い把握している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	0	事前に聞き取りを行い把握している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	0	ヒヤリハットファイルを作成し、共通理解に努めている。	

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	0	会議や研修の場を設け、話し合い行っている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	2	0	支援計画をもとに説明を行い、保護者に同意書を記入して頂くようにしているが、今年度は身体拘束となるケースはなし。	

○この「児童発達支援自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 色えんぴつ

保護者等数(児童数) 18 回収数 17 割合 94 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	0	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	0	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	0	0	2		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	0	0	1	・スペースも広く、キレイでとてもいい環境だと思う。	
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0	0	4		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	0	0	1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16	0	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	1	0	8	・コロナの影響で以前のように他の幼稚園へ行く機会がなくなってしまったのは残念。他の子との交流する機会がまたできるといいと思う。 ・交流がどのくらいあるのかわからない。	・個々で、幼稚園の園庭開放や行事等への参加を勧めている。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	1		

⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16	0	0	1	
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	1	0	5	
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	0	0	・迎えの際にその日の出来事を伝えてくれるのでありがたい。 ・連絡帳や帰りの際に園での出来事を伝えて頂き、毎回楽しみにしている。 ・いつも帰りのお迎えで、その日の様子を伺えているのでとても助かっている。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	0	0	・面談の機会は少ないが、送迎時に少しお話ができるのがありがたかった。 ・いろいろ相談にのって頂き、とてもお世話になっている。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2	0	11	・こちらもコロナの影響で、保護者同士が話す機会がほとんどなくなってしまった。関わる機会がなくてもそれほど影響はないが、少し寂しい感じもする。 ・一年を通して他の保護者と交流を持つことがなかった。私自身、他の方との交流を求めているわけではないので、私は特に何も思わなかった。 ・保護者の方との交流には参加したことがない。（参観会には出席している）
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1	0	2	・とても丁寧にお話をしてくれ、聞いたりしてくれるので助かっている。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0	
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1	0	1	・色えんぴつだよりを頂き、子どもの様子を見て嬉しかった。次号も楽しみにしている。

非常時等の対応	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16	0	0	1		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	0	0	2		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0	2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	14	2	0	1	・「色えんぴつ明日あるよ」と伝えると毎回楽しみにしている。 ・朝行くのを嫌がる時もあるが、帰りには楽しかったと言って帰ってきている。 ・とても楽しく通っている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0	・先生方には感謝している。色えんぴつに通園できてよかった。 ・上の子も通っていたが、その頃と同じように、しっかり支援してくれ、安心して通わせることができています。 ・通い出してからいろいろできることも増え良かった。 ・通所前に比べ出来ることも増え、成長を感じ、とても満足している。 ・利用させて頂き、とても良かったなと思っている。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。